

竪穴式住居と土器溜まりを復元します ～国史跡下野谷遺跡における整備事業～

「みんなでつくる、つなげる都市部の縄文空間」を合言葉に進めている、南関東最大級の縄文時代中期の集落遺跡「史跡下野谷遺跡」の整備工事が始まります。

今年度の整備工事では、ムラの重要な要素である竪穴式住居2棟と、使われなくなった住居跡のくぼ地に土器が集中的に残された状況（土器溜まり）1基を復元します。

完成は、令和5年3月末を予定しています。成長し続ける縄文のムラ下野谷遺跡にご期待ください。

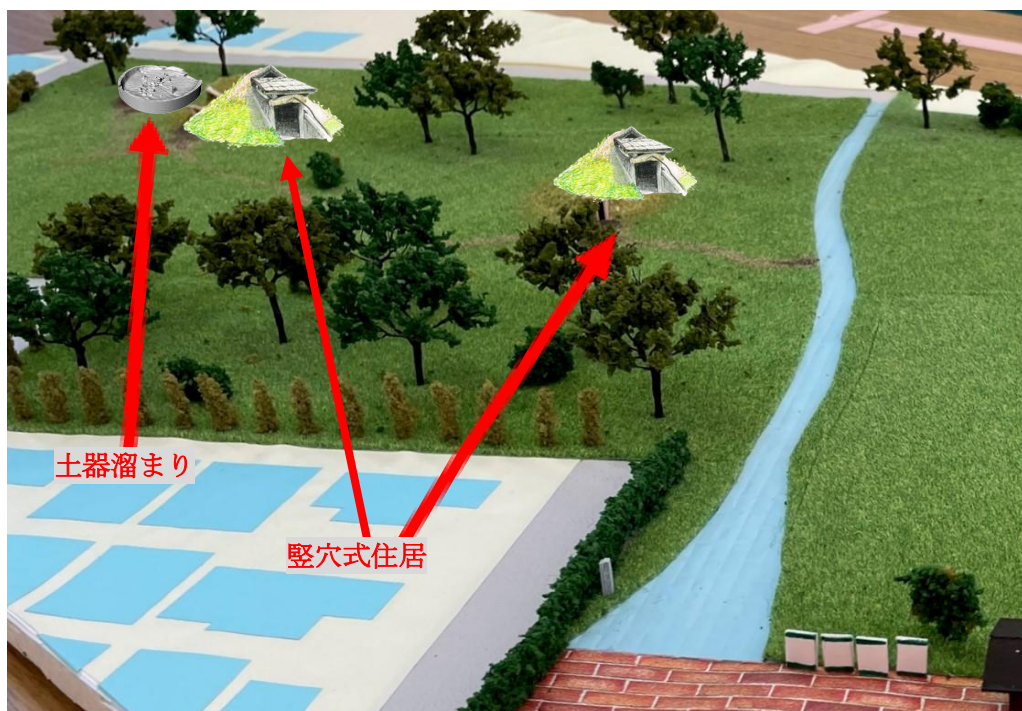
1 工事予定期間 令和4年11月下旬～令和5年3月



2 工事内容 竪穴式住居復元 2棟

土器集中出土住居跡（土器溜まり）復元 1基

3 工事期間中は整備地の一部を閉鎖します。



【問い合わせ先】 教育部 社会教育課 （TEL：042-420-2832）

資料のポイント

- 『史跡下野谷遺跡保存活用計画』（平成 30 年 3 月策定）
『史跡下野谷遺跡整備基本計画』（平成 31 年 3 月策定）に基づき、令和元年度に設計、令和 2 年度から整備工事を実施。今年度で市が主体的に行う整備（1 期整備）は完了。
- 発掘調査で確認された住居跡の直上に、調査で得られたデータに基づき正確に復元。
- 都市部では数少ない、本格的な集落の復元整備事例。
- 世界遺産に選定され注目を集める縄文時代をより体感できる場として、教育への活用、まちのにぎわいの創出、市の豊かな歴史文化のシンボルの役割などが期待できる。
- 令和 5 年度からは、市民が中心となる整備（2 期整備）が始まる。下野谷遺跡を盛り立てる「ムラびと制度」などを活用し、常に新しい発見にあふれる史跡をめざす。